

地域密着型金融推進項目の進捗状況について(平成21年度)

項 目	具体的な施策	平成21年4月～平成22年3月の実績
1. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
地域共生店舗の展開	どなたでも気兼ねなく使えるトイレ、地域の皆様の作品を展示できるギャラリー、休日も稼働する貸金庫、「暮らしのあんしんコーナー」(何でも相談コーナー)の設置など、気楽にお立ち寄り頂き皆様のふれあいの場となる店舗作りに努めます。	平成21年7月に、8店舗目の地域共生店舗として市民ギャラリーを備えた、新宮支店をオープンいたしました。さらに本格的なギャラリーを備えた古賀支店を22年4月にオープンいたしました。「暮らしのあんしんコーナー」では、1,574件のご相談をお受けいたしました。
事業活動への支援・多彩な資金ニーズへの対応	地域の企業活動や事業継承を支援するため、企業の資金需要や各種の相談に目細かく応じてまいります。また、地域の個人の皆様の資金需要にも対応し、多重債務問題解決の一助ともなるよう消費者ローンの態勢を強化します。	「フリーローンおんがえし」を始めとする低金利の消費者ローンを推進し、合計で2,694件、2,735百万円のご利用をいただきました。国の緊急保証制度については当初より積極的に取り組み22年3月末では550件7,428百万円のご利用をいただいております。
音楽会、講演会、旅行等の企画	「さわやかコンサート」、「おんしん講演会」、「ふれあい旅行」や「マナー研修会」など、地域の方々が集い楽しんでいただける行事を企画いたします。	「マナー研修会」に194名の方に参加をいただきました。「おんしん講演会」に約2,200名をお招きしました。「おんしんふれあい旅行」に121名の方に参加いただきました。
特色のある商品の提供	定年をお迎えの方々への感謝の気持ちを金利に込めた「豊齢」など、地域の皆様の期待にお応えする商品を提供いたします。	当庫設立60周年記念の感謝を利回りに込めた、特別金利定期預金「温心・感謝60」を45億円募集しました。
金庫経営の安定性強化	地域経済へ持続的に貢献するため、金庫の財務の健全性、経営の安定性に更に努めます。今後とも2桁の自己資本比率を維持します。	平成21年度の自己資本比率は13.23%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。
2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援		
企業再生・経営改善活動の推進	経営的な困難に直面している企業を重点取り組み先として選定し、事業支援に取り組みます。	8先がランクアップいたしました。
創業・新事業支援の継続	地域企業の新規事業について息長く支援していきます。	制度融資として3件34百万円取り組みました。
事業継承支援活動	企業経営者の高齢化により、事業の円滑な継承が地域の経済にとって重要な課題となっています。法務、税務等の専門家と連携し、支援活動に取り組みます。	
不良債権比率の改善	企業支援、債権管理の充実により、不良債権に積極的に取り組み、引き続き不良債権比率の改善に努めます。	平成21年度は5.14%となり、前年度より0.27%低下しました。
3. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	信用金庫リスクデータベース(SDB)によるスコアリングを利用した融資等を推進します。	SDBプロパー融資を316百万円取り組みました。
新形態の融資の推進	実績のあるシンジケートローン・ノンリコースローンをお客様のニーズに合わせて取り組みます。	